

Windows11 (24H2) での CPR 使用上の注意

弊社の LAN シリアル変換製品で利用できる COM ポートエミュレーションソフト (Com Port Redirector: 略称 CPR) は、Lantronix 社が提供している仮想 COM ポートを作成、管理できるユーティリティソフトウェアです。

弊社の下記製品等でご利用いただいております。

弊社製品型番	Lantronix 社製 LAN デバイス
SI-60 / SI-60F / SI-60F-L	XPort-05
SI-65 / SI-65A / SI-65A-L	
SI-65FA / SI-65FA-L	
SI-65i / SI-65i-RJ	
SI-60Wi	WiPort
SI-60X	WiPort-NR
SI-60P / SI-60FP	xPico
LA-232R-P	
LA-485R-P / LA-485T	
SI-60FWi	xPico240
SI-65Wi	

■ CPR の動作環境

現時点 (2025 年 4 月) では、Lantronix 社からの動作保証は Windows® 7/8.1/10/Server2008 となっており、Windows 11 での動作保証がございません。

弊社ではこれまで Windows 11 でも動作することを確認していましたが、Windows11 の 24H2 アップデート以降、COM ポートの新規追加時に支障が出る場合があることが判明しました。

■ Windows 11 での CPR 利用時の注意点とトラブル時の対処法

Windows 11 は Lantronix 社の動作保証外となりますので、以下の対処法を含め自己責任でのご利用をお願いいたします。

※ 今後の Windows アップデートにて、この対処法が有効でなくなる可能性があります。

※ 新規のアプリケーション作成時は CPR を利用せずソケット通信にて直接通信することをご検討ください。

[対処法]

CPR を Windows11 24H2 の PC に初めてインストールする場合は手順 1 に進んでください。

アップデートで動作しなくなった場合は手順 0 から開始してください。

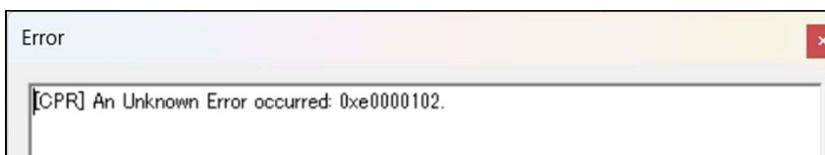
下記手順の確認は Lantronix CPR 4.3.0.3 (x64) にて実施しています。

バージョンが古い場合は念のため事前に CPR の最新バージョンを再インストールしてください。

手順 0

Windows11 24H2 にアップデートする前に CPR manager で登録した仮想 COM ポートがある場合は、いったんすべて削除します。

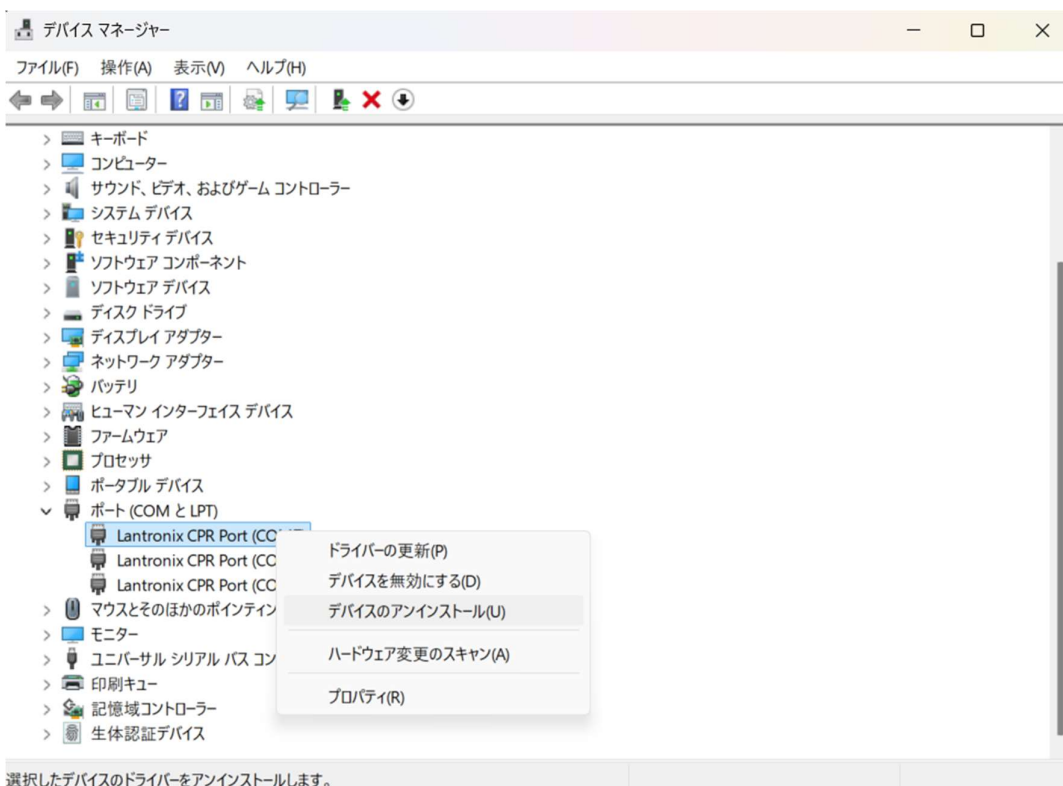
CPR manager からの削除はエラーとなることがあります。



手順 0-1

スタートメニューの右クリックやタスクバーの検索等から「デバイスマネージャー」を表示します。

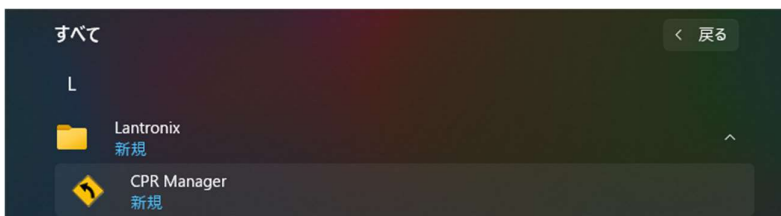
手順 0-2



ポート (COM と LPT) の中にある Lantronix CPR Port (COM XX) をそれぞれ右クリックして“デバイスのアンインストール”を実行して COM ポートを削除します。

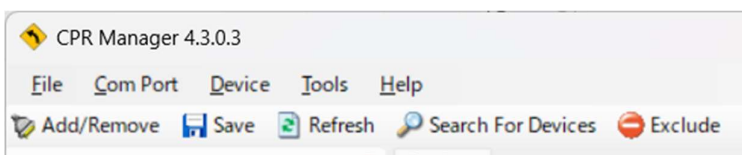
手順 1

CPR Manager を起動します。



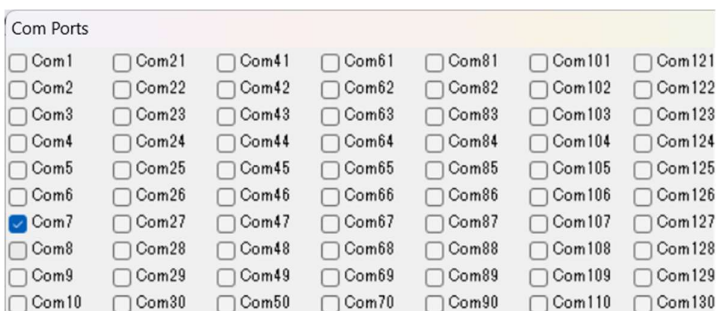
手順 1-1

画面左上の Add/Remove をクリックします。



手順 1-2

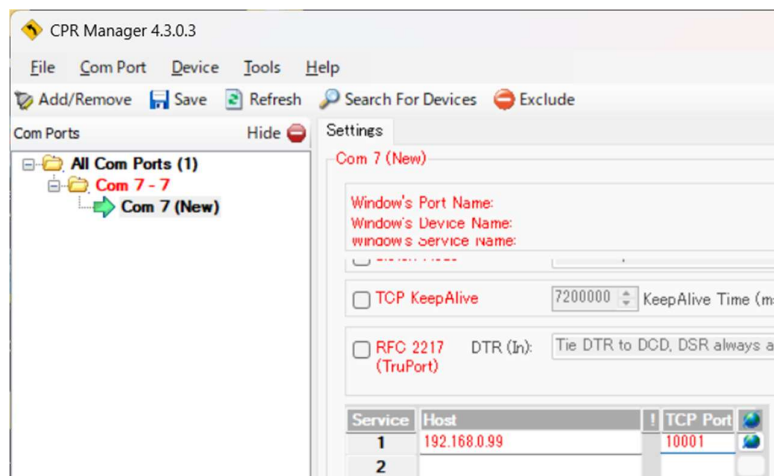
COM ポートの追加ダイアログが出ますので、**必ず1つのみ**チェックを追加して OK を押します。



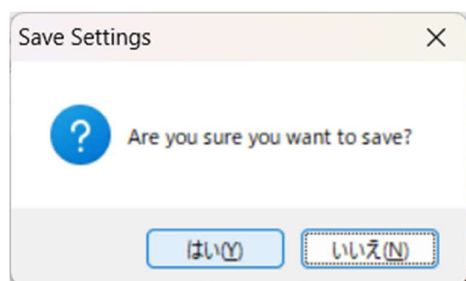
1 つめの仮想 COM ポートの追加には正常に成功します。

手順 1-3

追加した COM ポートに 弊社 SI-60 / SI-65 シリーズ等の設定に合わせて IP アドレス、ポート番号などの詳細設定を行い、画面左上の Save を押します。



手順 1-4



設定を保存する（はい）を選びます。

設定が反映されたことを確認し、画面右上端の× で **CPR Manager** を必ず終了させます。

Com Port	IP Address	TCP Port	Com Status	Network Status	2217	BfrWr	SvrRec	NoCls	CntTO	TORec	KpAlv
Com 7	192.168.0.99	10001	Closed	Disconnected		Yes			7	Yes	

手順 2

CPR Manager を再び起動します。（既に開いている場合はいったん終了して再起動します）

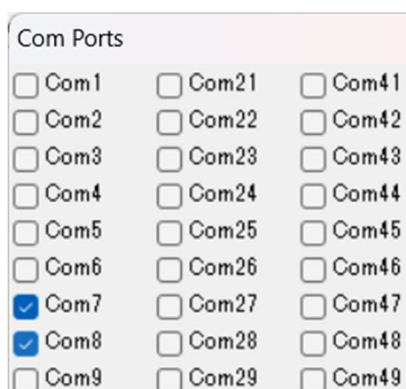
手順 2-1

画面左上の Add/Remove をクリックします。

手順 2-2

COM ポートの追加ダイアログが出ますので、既にあるチェックに加えて

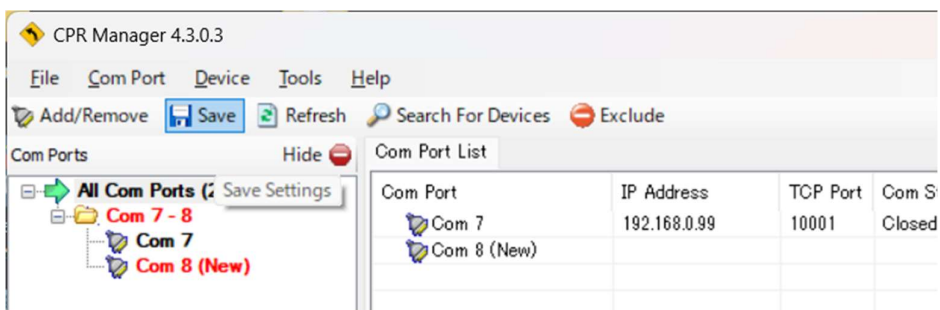
必ず1つのみチェックを追加して OK を押します。



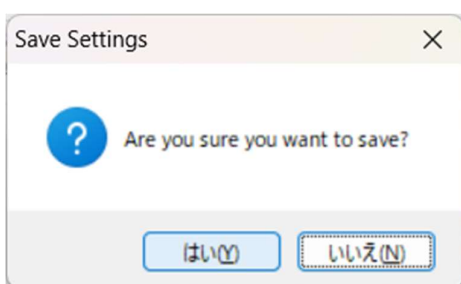
上記の例では、既に手順 1 で追加した COM7 に加えて COM8 を追加しています。

手順 2-3

IP アドレス等の詳細設定は行わず、そのまま画面左上の Save を押します。

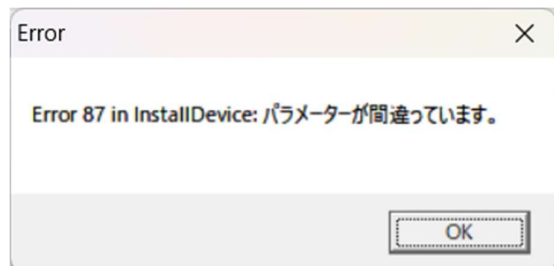


手順 2-4



設定を保存する（はい）を選びます。

今回は、追加に成功はせず エラー87 (0x57) が表示されます。

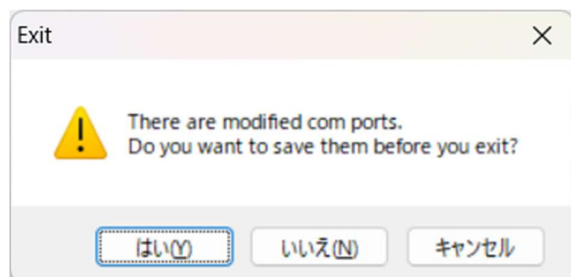


エラーのダイアログは無視し、“Done”、“OK” または × で閉じます。

手順 2-5

画面右上端の× で CPR Manager を終了させます。

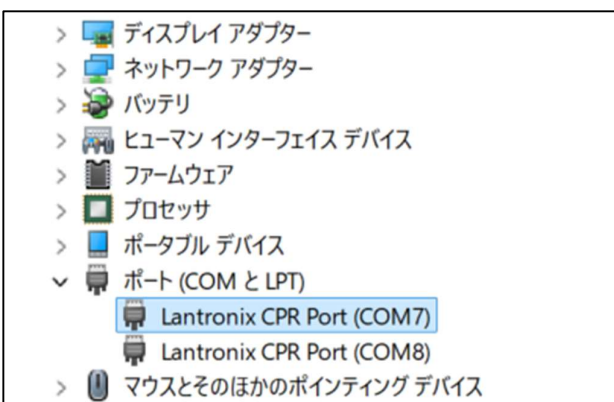
その際、下記のような設定保存確認ダイアログが表示されますので“はい”を選択します。
追加で手順 2-4 の設定保存確認ダイアログやエラーダイアログが表示されることがありますがすべて“はい”、“Done”で閉じます。



手順 3

スタートメニューの右クリックやタスクバーの検索等から「デバイスマネージャー」を表示します。

手順 3-1



ポート (COM と LPT)の中にある Lantronix CPR Port (COM XX)を探します。

手順 3-2

手順 2 で最後に追加した設定不良の COM ポートを選び、ダブルクリックか右クリックから“プロパティ”を表示させます。

どの COM ポートが設定不良なのか番号が不明な場合は、それぞれの”プロパティ”の表示内容から確認してください。

手順 1 などで正常に追加が完了した仮想 COM ポートの場合は「このデバイスは正常に動作しています」

となりますが、手順 2 で最後に追加した仮想 COM ポートは

「このデバイス用にインストールされたドライバーがありません」となります。



手順 3-3

「ドライバー」タブにある、「ドライバーの更新」をクリックします。



手順 3-4

「ドライバーを自動的に検索」を選択します。



手順 3-5

以下のような表示を確認して、デバイスマネージャーを閉じます。



手順 4

CPR Manager を再び起動します。(既に開いている場合はいったん終了して再起動します)

手順 4-1

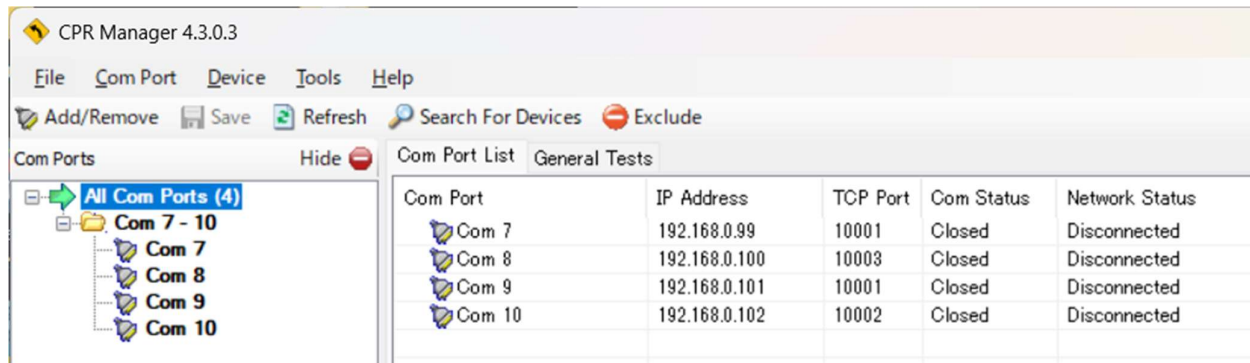
仮想 COM ポートが正しく追加されているはずですので、
手順 1-3 と同様に追加した COM ポートに 弊社 SI-60 / SI-65 シリーズ等の設定に合わせて
IP アドレス、ポート番号などの詳細設定を行い、画面左上の Save を押します。

手順 4-2

設定を保存する (はい) を選びます。
設定が反映されたことを確認し、画面右上端の × で CPR Manager を必ず終了させます。

3 台以上の SI-60 / SI-65 シリーズを運用する場合など

3 つ目以降の仮想 COM ポートを追加する場合は 手順 2~4 を必要なだけ繰り返します。



以上